

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和2年7月13日（月）～令和2年7月19日（日）〔令和2年第29週〕の感染症発生状況

第29週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 流行性角結膜炎でした。

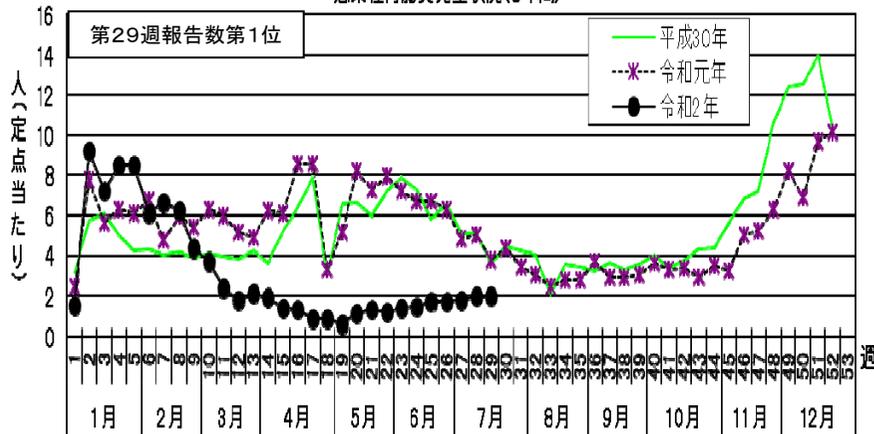
感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.00人と前週（2.00人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は1.81人と前週（2.03人）から減少し、例年より低いレベルで推移しています。

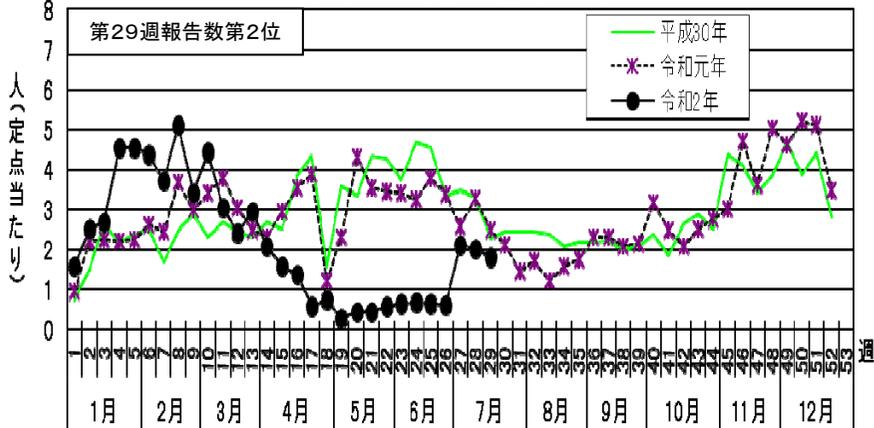
流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は0.67人と前週（0.22人）から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



新しい旅のエチケット～感染を拡げないために～

夏休みを控え、旅行や帰省などを計画されている方もいらっしゃると思いますが、大都市を中心に新型コロナウイルス感染症の発生が続いている状況です。

基本的な旅のエチケットとして、旅行を計画する際は行先の流行状況を確認し、旅行中は手洗い・手指消毒を心がけましょう。また、計画には余裕をもち、混んでいる場所はなるべく避けるようにしましょう。宿泊先ではこまめに部屋を換気し、新鮮な空気を取り込むことも大切です。

感染を拡げないために、3密が発生する場や施設等を避けて、新しい旅のエチケットを心がけましょう。

新しい旅のエチケット



旅先の
状況確認、
忘れずに。

旅ゆけば、
何はともあれ、
手洗い・消毒。

混んでたら、
今はやめて、
後からゆくり。

間あけ、
ゆったり並べば、
気持ちもゆったり。

こまめに換気、
フレッシュ外気は
旅のごちそう。

観光関連事業者により、旅行時に感染防止のために留意いただきたい事項が「新しい旅のエチケット」としてまとめられました。

観光庁「新しい旅のエチケット」より抜粋